

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名 真田地域自治センター

【平成30年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	重点目標 魅力あるスポーツリゾート「菅平高原」の環境整備 ① 菅平高原アリーナの供用開始及び適正な運用 ② 円滑な施設運営に向けた準備 ③ 施設の利用促進に向けた取組 (2) サニアパーク菅平の環境整備 ① ラグビーイタリア代表チームを迎えるためのグラウンド及び管理センターの整備 ② 陸上競技場の第3種公認更新及び利用者の利便性向上のための環境整備 (3) 菅平高原の自然環境の維持 ① 県自然環境整備支援事業を活用した菅平湿原の環境維持と自然愛護への意識高揚を目指した施設整備 (4) 年間を通じた誘客を目指した活動への支援 ① 健康増進プログラムを提供する菅平スポーツフィジカルセラピー協議会への支援	(1) ① 9月1日 ② 供用開始までに施設運用方法の調整 ③ 随時、地元関係団体との協議及び情報発信 (2) ① 11月末までにフィールドコンディションの向上及び管理センター更衣室・通路の床整備 ② 11月末までに公認更新のための改修及びトイレ・更衣室の新設 (3) ① 12月末までに遊歩道としての木道（100m）の改修 (4) ① 年度末まで地方創生推進交付金を活用した財政支援	(1) ① 各種事務を進め、8月31日に竣工式を開催し、9月1日から供用開始。 ② 施設運営に必要な管理規則等を定め、行政手続きに必要な審査基準を策定した。 ③ 地元建設委員会等と利用促進に向けた協議を進めたほか、パンフレットを作成するとともに、広報・ホームページで利用促進を図った。 (2) ① 5月に管理センター更衣室・通路の床整備を実施。 ② 早期に発注し5月から陸上競技場改修工事、トイレ新築工事に着手。 (3) ① 9月14日付けで請負契約を締結し、工事に着手。 (4) ① 平成30年度 国の地方創生推進交付金の事業採択を受けて事業実施する菅平スポーツフィジカルセラピー協議会へ、5月に補助金を交付し、誘客に向けての活動を支援した。
2	重点目標 真田に暮らす誇りと生きがいを感じる 参加と協働のまちづくり ① 住民自治組織の「まちづくり計画」策定への支援 ② 住民意見の把握のためのワークショップ等の開催支援 ③ 計画案の内容調整支援 (2) 地域づくり委員会と住民自治組織が連携したまちづくりへの取組 ① 住民自治組織の活動への理解に向けた周知 ② 連携方法の方向づけ ③ 地域課題の解決に向けた情報共有 (3) 「協働のまちづくり」の気運の醸成に向けた取組 ① 協働推進員、地域担当職員及び地域づくり委員会の地域担当者との連携 ② 地域住民等への行政及び住民自治組織のまちづくりや地域情報の提供	(1) ① 年度末まで情報提供及び相談 ② 随時、広報等による情報提供 ③ 年度末まで計画案に対する関係 部局への意見聴取 (2) ① 広報や地域づくり委員会等において住民へ情報提供（通年） ② 年度末までに協議及び調整 ③ 随時、課題をとりまとめ情報提供 (3) ① 情報共有（通年） ② 随時、地域づくり委員会での情報提供や自治センターだよりによる広報	(1) ① 地域担当職員とともに役員会及び理事会での情報提供や相談による支援を行った。 ② 3回のタウンミーティングの開催支援及び、センターだよりにより地域住民への周知を図った。 ③ 年度末までに計画の素案を示せるよう支援に努めている。 (2) ① センターだよりにより住民自治組織の活動に係る記事を掲載し、地域住民への周知を図った。また、地域づくり委員会でも活動を周知できるよう理解を促した。 ② 具体的な連携方法について、住民自治組織と準備・調整を進めた。 ③ 地域づくり委員会により把握した地域課題について、住民自治組織理事会と共有できるよう取組んだ。 (3) ① 真田地域の地域づくり等に係る情報共有を図るため、協働推進員及び地域担当職員も出席した「地域づくり委員会地域担当者打合せ会議」を6月20日に開催した。 ② 地域づくり委員会において住民自らによる地域の活性化や課題への対応等の取組事例を紹介し、「協働のまちづくり」への気運の醸成を図った。
3	重点目標 地域を守る自主防災活動の推進 ① 自主防災組織リーダーの役割及びハザードマップ等についての研修会・先進地視察の実施 (2) 防災訓練の実施 ① 重点地区（菅平地区）及び自治会単位の防災訓練の実施 (3) 災害時要援護者登録制度の充実 ① 自治会関係者へ制度や活用などの周知 ② 更新作業の実施	(1) ① 5月末までに、36自主防災組織を対象に実施 (2) ① 菅平地区を重点地区に定め10月に実施。重点地区以外は、11月末までに過半数以上の自治会で実施 (3) ① 年度末までに自治会長、民生委員への説明を4回、福祉推進委員等への説明を2回実施 ② 7月から12月に作業を実施	(1) ① 5月21日に真田地域36自治会中27組織が参加し、自主防災組織の役割や災害ハザードマップ等についての研修会を開催した。また、5月25・26日には、13組織のリーダーが中越地震の教訓を伝える施設を視察し、地域防災について研修した。 (2) ① 9月末までに、重点地区以外の11自治会が防災訓練を実施した。 (3) ① 自主防災リーダー研修、各自治会の地域づくり委員会で制度説明し、防災訓練の実施を働きかけた。（2回）また7月と9月の民児協定例会で自主防災組織との連携等についての説明や検討を行った。（2回） ② 8月末より全自治会を対象とした一斉更新作業に着手し、12月終了に向け実施中。

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名 真田地域自治センター

【平成30年度重点目標】

重点目標	地域公共交通の存続に向けた利用の推進		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	(1) 公共交通の利用促進に向けた広報活動 ①地域住民へのPR活動 ②地域内各事業所への訪問によるPR活動 (2) バス利用促進のための各種イベントの開催 ①七夕バス（園児の絵画を車内に展示） ②真田まつりでのバス乗車体験 ③定期券・回数券特別幹旋企画 ④クリスマスイベント ⑤ギャラリーバス（絵画・写真等の車内展示） (3) 真田地域公共交通利用促進協議会の運営 ①役員会及び総会の開催 ②利用促進に向けた調査・研究	(1) ①地域づくり委員会（7月）や自治会連絡会議（1月）等で5回実施 ②年度内に公益団体・企業を中心に訪問（10社） (2) ①～⑤真田地域公共交通利用促進協議会主催により、関係機関の協力を得て各種イベントを開催 (3) ①総会を6月・役員会は随時開催 ②各種イベントの企画・検討	(1) ①7月開催の地域づくり委員会にてお知らせ事項として周知。自治センターだより7月・9月号に各種イベントの実施や、運賃低減バス実証運行の継続について掲載し、利用促進を呼びかけた。 ②各事業所の訪問は、異動時期に併せ年度末実施に向けて準備中。 (2) ①7/7～8/7七夕バスの実施。 ②8/4真田まつりでバス乗車体験を実施。 ③9/15～10/14回数券/定期券の特別販売企画を実施中。④12月実施予定。⑤2月実施予定。 他 7/25～8/22のキッズバスイベントに併せて真田地域内独自のスタッフラリー（6か所）を実施。（参加者15人） (3) ①5/22役員会、6/27総会開催。 ②9/16に開催された「第5回信州バスまつり」に協力を行った。
重点目標	真田地域福祉関係施設の今後のあり方検討と方向付け		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
5	(1) 上田市真田地域活動支援センターのあり方の見直し ①内部協議の実施 ②外部の意見聴取の実施 ③センターのあり方についての方向付け (2) 上田市真田総合福祉センター等のあり方の検討 ①内部協議の実施	(1) ①11月までに関係課、関係機関と協議を3回実施 ②年度末までに外部からの意見聴取のできる検討会を2回開催 ③年度末までに上記①②を踏まえて担当部署において方向付け (2) ①年度末までに内部協議を2回実施し、あり方について庁内における方向性を集約	(1) ①②内部協議へ向けた事前調査作業に一部着手した。2月に開催を予定している外部からの意見聴取に向け、順次協議を進めていく。 ③年度末までに、上記①②を踏まえて担当部署において、センターのあり方について方向付ける。 (2) ①地域活動支援センターの協議に合わせて、関係課、関係機関を含めた総合的な協議に着手する。

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]